

早期コシヒカリ 適期収穫で品質の向上を目指そう!!

〈大川地区〉

令和4年8月

東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

収穫前の水管理

- 落水時期は、収穫7日前を目安とし、収穫作業に支障がない限りできるだけ遅らせましょう。
- 早期栽培では登熟期の気温が高く蒸散も盛んで土壌水分が不足しがちです。落水後も田面が乾きすぎる場合は走り水を行いましょう。
- 登熟期に水がないと玄米の厚さが不足して整粒歩合が低下します。

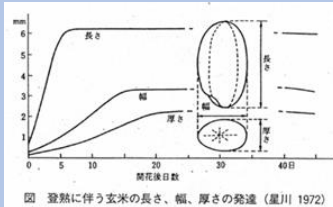


図 登熟に伴う玄米の長さ、幅、厚さの発達 (黒川 1972)



登熟後半も、お米の充実に必要な土壌水分を保ち、玄米をしっかりと充実させましょう!

水稻収穫後は早めに耕うんしましょう

- ひこばえはイノシシやサルのエサとなるため、早めにすき込みましょう。



稔ったひこばえ

早期栽培コシヒカリひこばえの収穫量
玄米 平均 86kg/10a
(令和元年調査)

=体重50kgのイノシシなら約40日分の餌
=30頭のサル群なら約8日分の餌

無意識の餌付けはダメ!

収穫の時期

- 計画的な収穫を行い、刈遅れによる品質低下を防ぎましょう。
- 収穫が遅れると、茶米・胴割米が発生し品質が低下します。

収穫適期の目安

- ①出穂後の日数(出穂後の積算気温)⇒30日～33日(850～950℃)
(出穂期は全体の40～50%の穂が出穂した時期です)
- ②籾の黄変率⇒85%程度
- ③籾の水分⇒25～27%程度

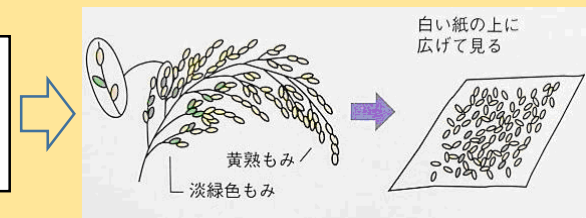
田植時期別の出穂期・収穫期(積算気温などから予想)

田植日	出穂期		収穫期	
	栽培しおり (平年)	本年産	栽培しおり (平年)	本年産 (予想)
4月15日	7月13日	7月14日	8月13日～16日	8月14日～17日
4月25日	7月15日	7月16日	8月14日～18日	8月15日～19日
5月1日	7月18日	7月19日	8月17日～21日	8月18日～22日

注) 収穫期は肥培管理や気象条件によって変動しますので、籾の黄変率を確認して適期に収穫しましょう。

籾の黄変率の調べ方(穂の熟れ方を確認して判定)

畦から2m程度入った中庸な株の最長稈の穂をとり、不稔籾を除いて確認する。



籾数の約85%が黄変した頃が収穫適期!